

音楽科学習指導案(3 次案) 1 学年

題材名「歌詞を表現しよう」教材名『かたつむり』

1 本時の位置 (全 1 時間扱い中の第 1 時)

2 本時の主眼

拍を感じながら様々な言葉を表現することができ、拍に乗って歌を歌いたいと思っている子供たちが、かたつむりをからだを使って表現する場面で、かたつむりのかしに着目して振付をしたり歌う活動を通して、自分なりのカタツムリを表現することができる。

3 指導上の留意点

- ・かたつむりの歌詞を知らない子のために、歌詞を黒板に提示する。
- ・かたつむりの歌詞の意味を解釈していく場面で、取り残される子がいないように教師は確認を取りながら進めていく。

4 本時の展開

段階	学習活動	予想される児童の反応	時間	指導・援助と評価
導入	1 前時の復習をする。	・あ、知ってる！ ・踊りだす子 ・何だろう？ ・かたつむり	5	○ こどもがカタツムリの歌に焦点をあてることができるように、教師はかたつむりの曲を流す。 「今日は梅雨の時期に見ることができる生き物の曲を歌いたいたいと思います。なんの生き物が出てくるでしょう？」 →「誰か言ってくれたけど、なんの曲って言ってた？」
	かたつむりを、からだをつかったりしてひょうげんしよう			○ 分からない子どものために、教師は2回曲を流す。
展開	2 かたつむりのエピソードについて話し合う。	・ぼくこのまえ、あじさいの葉っぱの上にカタツムリがいるのを見たよ ・私は、雨の日に道で歩いているのをみた！ ・カタツムリってぬめぬめしているよね。 ・カタツムリとナメクジって何が違うの？ ・カタツムリって殻があるからのそのそ歩きそう ・カタツムリってこんな感じの動き	10	○ こどもが、かたつむりについての想像を膨らませられるように、教師はかたつむりの話を語り合う場を設ける。 「かたつむり見たことある人？」 ○ こどもがかたつむりの特徴に目を向けることができるように、教師はカタツムリとナメクジの違いについて話し合う場を設ける。
	かたつむりのかしに着目して振付を考えたり歌えばよさそう			「ナメクジと比較してナメクジでなくてカタツムリっぽい動きって何だろう？」
終末	3 かたつむりのかしに着目して振付を考える。	・○○さん一緒にやろう！ ・でんでんむしむしって何？ ・「つのだせ」は頭からつんつんはえているようにしよう ・「やりだせ」はやりをつきだして鋭い感じにしたいな ・でんでんむしむしはでんでん返しをして丸い生き物を表そう ・でんでんむしむしとかたつむりは友達だから仲良く手をつないで歌おう	15	○ こどもが自分なりのかたつむりを表現できるように、教師は友達同士でカタツムリの歌詞の振付を考える場を設ける。 「カタツムリとナメクジはこんな動きの違いがありそうだって言えたね。じゃあ、カタツムリの特徴を意識しながらカタツムリの歌詞に振付を考えよう！」 ○ 子どもが歌詞に含まれる言葉の意味が分からない場合は、教師がクラスの子どもにそれらの言葉の意味を投げかける。 「でんでん虫ってどういうことを言っているのかな？と言ってる子がいるのだけど、みんなはどう思う？」 ○子どもが発言しやすいように、教師は子供たちにリレー形式で発言を設ける。 ○ こどもが発言しやすいように、教師は子どもの発言を認め自信を子供が持てる
		・でんでんっていう虫がいるんじゃないかな ・でんでんてカタツムリの様子を表しているんじゃないかな？		

平成 30 年 6 月 29 日(金) 第 2 校時

授業会場 1 年東組教室

1 年東組 男子 20 名 女子 18 名 計 38 名

指導教官

授業者

			ような言葉がけを行う。 「なるほど！面白い考えだね。 そんな考え方もありそうだね」 ○ こどもが取り残されないように、教師が全員に向けて確認をとり援助する。
4 発表しあう	・僕のグループ発表したい ・こんなカタツムリをイメージしたよ ・そのふりつけ面白い！！ ・やってみたいな。	10	○こどもが色々な表現の仕方を共有できるように教師は発表の時間を設けたり、場合によっては一緒にまねをしたりするようにする 評価：自分なりのカタツムリを表現している。 体の動き・表情・歌い方
5 本時を振り返る。	・振付を考えるのが楽しかった ・色々なカタツムリがあって面白かった ・僕の思うカタツムリを振りつけられて楽しかった。	5	○子どもが今日感じたこと・学んだことを整理出来るように、教師は本時を振り返る場を設ける。 「今日は、こんなことをやりました。やってみて感想ある人いるかな」